



観覧自由の入団テストに続いて、子ども達を対象に、「ティーボール教室」が開かれました。

ティーボールは、投手を置かず、バッティングティーに置いたボールを打ってゲームを進めます。誰もが安全に野球やソフトボールの基本的な技術を身に付け、さらにはゲームの楽しさも味わえます。

「はつかいちサンブレイズ」の坂東瑞紀投手と小原美南投手が、笑顔で一人ひとりに声をかけながら、的確にアドバイスを。子ども達も体験の中で、それぞれ上達を実感している様子でした。2チームに分かれてのゲームでは、ルールをしつかり理解して接戦を繰り広げ、チームプレーを楽しんでいました。

ティーボール教室も開催されました

いいたてスポーツ公園の屋内コートで「ティーボール教室」が開かれました。握りやすい柔らかなボールを使って守備練習と打撃練習を行い、チームに分かれて試合も体験しました。



真剣に取り組んでくれて、短い時間でしたが上達しましたね。私達も楽しかったです。



坂東瑞紀投手 小原美南投手

野球がすごく楽しかった！
子ども達が
かわかった！

9月20日、いいたて球場で、女子硬式野球の企業チーム「はつかいちサンブレイズ」が入団テストを実施。宮崎県と長野県からエントリーした2選手が、走塁・守備・打撃などの実技テストに臨みました。

同球団は、広島県廿日市市が本拠地。西日本大会のチャンピオンチームとして実績を重ね、さまざまな地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

オーナー企業の株式会社ダイサンが飯館村でトマトの

実証栽培を行っており、村と協定を結んで未来志向型農業に向けた取り組みにも協力していることから、同球団にはこれまでも野球教室の開催などで応援をいただいています。

いいたて球場のさらなる活用も視野に入れた今回の取り組み。観覧席からは「女子野球かっこいいね」という声も。迫力あるプレーを通して、一般来場者にも女子野球の魅力が伝わっていたようです。



フォロワーが2万人を超える球団のインスタグラム。球団についてさらに知りたい方はこちらから。



次世代を担う選手と共に、チームは日本一を目指していきます。



島田誠ヘッドコーチ
ゴールデングラブ賞を6回受賞した元プロ野球選手で野球解説者。



球団代表
峠元（たもと）真依さん

飯館村は自然豊かで人が温かいと感じています。球場の環境も素晴らしいです。福島とつながり、女子野球で福島に活気が生まれることを願っています。



聖光学院高校の女子野球部が協力。入団テストの後に部員向けの野球教室も開催されました。

「はつかいちサンブレイズ」入団テスト@いいたて球場



花色が豊富なクジャクソウ。夏の終わりに咲き始め、秋の訪れを告げる花です。

目次 CONTENTS

- 02 話題「はつかいちサンブレイズ入団テスト」
- 04 特集1「飯館村議会議員一般選挙」
- 06 特集2「令和6年度決算報告」
- 10 報告「9月議会定例会」
- 12 空から百景「秋の田園風景」
- 14 いいたて便り
- 16 話題のパレット
- 18 村からお知らせ
- 20 なりわいREPORT
- 21 歴史の散歩道／ふれ愛館だより
- 22 いいたてPHOTOリレー ほか
- 23 愛楽故郷味／ひとのうごき
- 24 ほっとNEWS ほか

📷 今月の表紙



女子硬式野球の企業チーム「はつかいちサンブレイズ」による「ティーボール教室」が開かれました。同球団選手の温かな指導のもと、子ども達が野球と交流を楽しみました。表紙は別れ際に選手とハイタッチする高橋絵優（えま）ちゃん。思い切り野球を楽しんだ後の笑顔です。詳しくは左隣の記事をご覧ください。

村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613 までお知らせください。